

## 別記様式(第7条関係)

## PPP/PFI 手法定量評価調書(文化の森空調設備更新事業)

	従来型手法 (市が自ら整備等を行う手法)	採用手法 (候補となるPPP/PFI手法)
整備等(運営等を除く。)費用	331,673千円	318,956千円
〈算出根拠〉	見積額から算出	従来型手法より10%削減(298,506千円)+ 建中金利(450千円)+施設整備期間SPC 運営費用(20,000千円)
運営等費用	25,974千円(式:1,998千円/年(年間維持 管理費)*13年(期間))	153,374千円
〈算出根拠〉	現在の経費実績から想定	従来型手法より10%削減(23,374千円)+ 維持管理運営期間SPC運営費用(130,000 千円)
利用料金収入	—	—
〈算出根拠〉	空調設備の更新、維持管理のため対象外	空調設備の更新、維持管理のため対象外
資金調達費用	34,923千円	43,419千円
〈算出根拠〉	起債利息	金融組成費用(2,985千円)+金利(9,004 千円)+起債利息(31,430千円)
調査等費用	30,000千円	60,000千円
〈算出根拠〉	間接コスト2,000千円*15年(整備維持管 理期間)	SPC設立費用(10,000千円)+アドバイザー 一費用等(20,000千円)+モニタリング費用 (30,000千円)
税金	—	5,551千円
〈算出根拠〉	従来型の場合は想定せず	各年度の損益に法人実効税率30.46%を 乗じて算出
税引後損益	—	15,542千円
〈算出根拠〉	従来型の場合は想定せず	EIRRが5%以上確保されることを想定
合計	422,570千円	596,842千円
合計(現在価値)	357,753千円	496,253千円
財政支出削減率		VFMは、-138,500千円、-38.7%
その他 (前提条件等)	BTO・サービス購入型、事業期間13年 割引率2.5%	